

アートスクリー (名古屋市北区)



- 1 -

軽量で緩みにくいねじ



から「ドナ」へ
「BIZ」ページ
QRコードを
トップ



「次世代ものづくり基盤技

術産業展 TECH Biz

EXPO 2024」(テック

ビズ)名古屋市国際見本市委員

会、名古屋産業振興公社主催、

中日BIZナビ共催)が5月

22、23の両日、名古屋市千種

区の吹上ホールで開かれる。

出展する103社・団体の中

から優れた技術を紹介する。

あらゆる工業製品に使われ

るねじ・ボルトには必ずと言

っているほど「緩む」という

悩みが付きまとう。この難題

に立ち向かうのが、アートス

緩みにくいボルト「モーションタイト」の関連製品の
仕上りをチェックするアートスクリーの後藤久雄
工場長(左)と松林興社長(右)愛知県小牧市の同社工場で

クリュー(名古屋市)が約10

年前から販売するボルト「モ

ーションタイト」だ。

通常のボルトとの違いは、

らせん状の「ねじ山」の形状

をわずかに変えてあること。

締め付けた際にねじ山がたわ

み、ばねのように反発するた

め、ナットなどの取り付け部

に強く密着して緩みを防止で

きる。

今回の「テックビズ」では

高性能の新シリーズ「TRIBO

BO(トリボ)」を展示す

る。ボルトは一般的に大型化

するほど緩みにくくなるが、

従来より小さく軽量ながら
も十分な緩みにくさを達成。
4年の開発期間を経て、今年
に入り量産化にめどを付け
た。

松林興社長(65)は「世界を
見渡してもこんなボルトはな
い。ようやくここまで来た」
としみじみ語る。初期のモー
ションタイトの開発に乗り出
した十数年前は失敗の連続。
後藤久雄工場長(62)とともに
200超の金型を作り、最適
なねじ山の形を追い求めた。
製品化にこぎ着けた後も実績
が少ないため、取引先の信用
を得るには年単位のテスト期
間を要した。

今ではオートバイやトラッ
ク、工場の生産設備、風力発
電、人工衛星と幅広い分野で
使われているが、まだまだ販
路は広がると見込む。軽量・
高品質をつたう新製品は「重
い電気自動車の軽量化に役立
つ」と松林さん。10年で培っ
た実績も支えに自動車メーカ
ーでの採用拡大を目指す。

(妹尾聡太)